

サステナブル素材で未来のデザイナーがコスメ容器をプロデュース！

～多摩美術大学×長瀬産業 共同研究プロジェクト成果発表ムービーをオンラインにて公開～

長瀬産業株式会社（東京都中央区、代表取締役社長：朝倉 研二、以下「長瀬産業」）は、多摩美術大学（東京都世田谷区、学長：建畠 哲）でプロダクトデザインを専攻する学生11名との産学共同研究の成果発表会を開催、収録映像をオンライン上で公開いたしました。今回は、長瀬産業のネットワークを通じて株式会社アルビオン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林 章一、以下「アルビオン」）、株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川 美紀、以下「ポーラ」）、株式会社資生堂（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長兼CEO：魚谷 雅彦、以下「資生堂」）の3社を迎え、様々な特長を有する樹脂のコスメ・パーソナルケア用途開発をテーマに研究が行われました。

長瀬産業では大学との産学共同研究として、これまでの製品展開にとらわれない新しい樹脂の価値を探求する取組みを2018年より続けており、多摩美術大学とは今回で3年目となります。今回の研究は、Eastman Chemical社（本社：米国）の樹脂（※1）を活用し、コスメ・パーソナルケア業界向けの用途開発を行うもので、特定の市場を対象とした用途開発は初めての試みとなります。

長瀬産業が代理店として取り扱うEastman Chemical社製の樹脂は、ガラスのような透明性があり、割れにくく優れた耐久性や耐薬性を持ち、食器等の生活用品から医療機器まで、幅広い用途で使用されています。さらに、同社独自の分子リサイクル技術により、従来のリサイクル技術における品質維持の課題を解消したサステナブルグレードの展開も開始されるなど、世の中のニーズに沿った環境対応も進められています。

今回は、環境へ配慮したモノづくりに取り組むアルビオン、ポーラ、資生堂の3社がそれぞれ掲げるテーマに沿って、樹脂の特長を活かしながら市場トレンドを予想し、ニーズに対応しリアリティを追求したプロダクトデザインの研究を実施しました。

11月6日に行われた成果発表会では、学生の柔軟な発想力と豊かな表現力によるオリジナリティあふれる研究成果のプレゼンテーションが行われました。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策のため、成果発表会にて収録した映像を当社ウェブサイト上で公開いたします。

【研究テーマ】

■株式会社アルビオン 【日本を世界にアピールするデザインの提案】

～TREVA（※2）を用い、環境に配慮しつつも高級感を損なわないデザイン提案～

■株式会社ポーラ 【美と健康に貢献する10年後のライフスタイルプロダクト】

～社会情勢や世界のトレンドを予測し、美と健康をリードするプロダクト～

■株式会社資生堂 【オンラインコミュニケーションでも使いたくなる化粧品容器】

～普段からオンラインコミュニケーションを頻繁に行うユーザーへ～

※1：透明性と耐久性に優れるコポリエステル樹脂（PETG、PCTG、PCTA、Tritan™）及び高いサステナブル原料割合を誇るセルロース樹脂（※2：TREVA）を対象に用途開発の研究を行いました。

【成果発表 オンライン上での映像の公開について】

U R L：<https://www.nagase.co.jp/pp/tritan/>

視聴方法：無料※／一部コンテンツのみ専用フォームにて申し込みが必要です。

※「産学共同研究ダイジェストムービー」は申し込み不要で視聴いただけます。

【研究成果発表会 開催実績】

イベント名：Eastman 社製樹脂 ～コスメ・パーソナルケア用途向け可能性開発～

日 時：2020年11月6日（金） 13:30～18:00

場 所：ナガセグローバル人財開発センター
（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-8-13）

※研究成果発表会は、関係者のみの入場とし、座席指定、マスクおよびフェイスシールドを着用する等の感染防止対策実施のうえ開催いたしました。



◆本件に関するお問い合わせ先

長瀬産業株式会社 URL：<https://www.nagase.co.jp/>

<イベント・プロジェクト、製品に関するお問い合わせ>

カラー&プロセッシング事業部 ポリマープロダクツ部 TEL：03-3665-3866

<報道に関するお問い合わせ>

経営企画本部 企画管理室 企画管理課

TEL：03-3665-3640